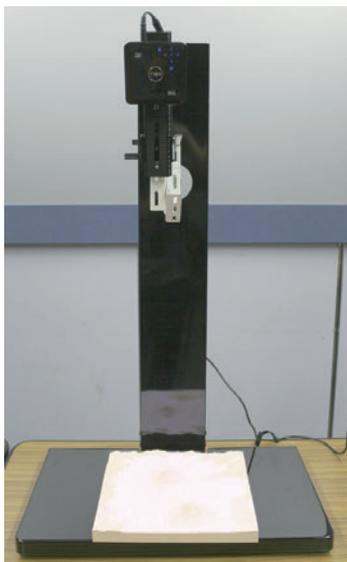


国際火山学地球内部化学協会 2013 年学術総会にて 展示した富士火山地質図の精密立体模型

<芝原暁彦¹⁾・及川輝樹²⁾・石塚吉浩²⁾・中野 俊²⁾・山元孝広²⁾・高田 亮²⁾・浦井 稔²⁾>

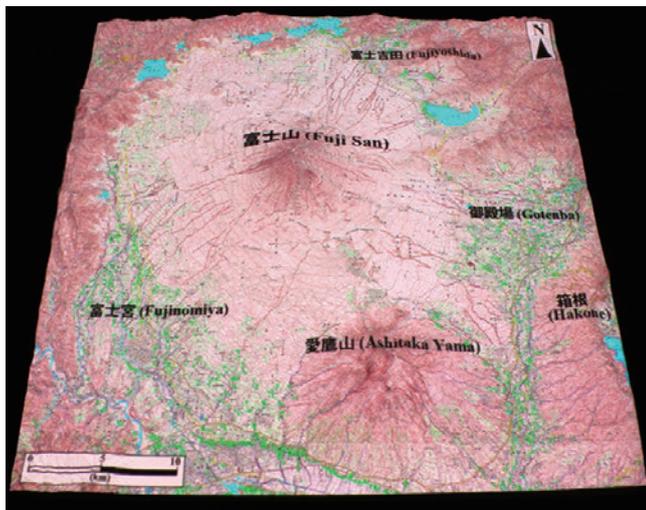
2013年7月20日～24日に鹿児島市で開催された国際火山学地球内部化学協会2013年学術総会 (IAVCEI2013) において、下記の立体地質模型を展示しましたのでご紹介します。この模型は約50年ぶりの改訂となる富士火山地質図を、三次元造型機で作製した地形模型に対して、精密に光学投影 (プロジェクションマッピング) したものです。関連記事が本号のp.51-52にもありますので、こちらも併せてご覧ください。なお、模型サイズは297×297 (mm) です。



第1図 投影システム一式 (投影用フレーム, プロジェクター, 立体模型, 焦点・光路調整器具).



第2図 富士山の立体模型 (投影前, 俯瞰約45度).



第3図 国土地理院5万分の1数値地図 (地図画像) の投影。俯瞰約45度。



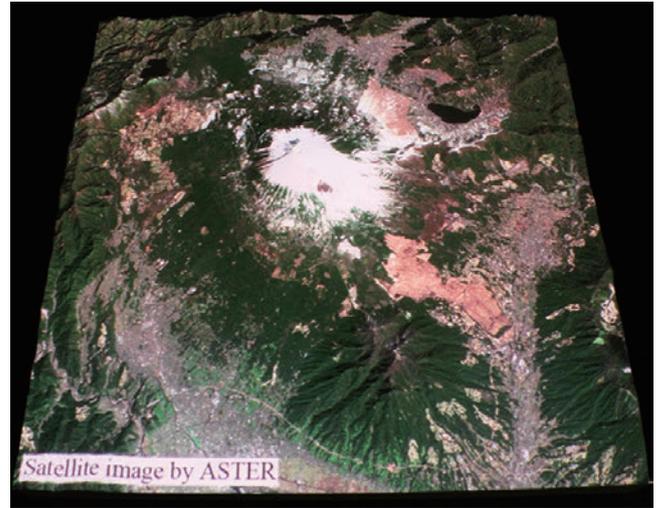
第4図 富士火山地質図 (全噴出物) の投影。俯瞰約45度。

1) 産総研 地質標本館
2) 産総研 地質情報研究部門

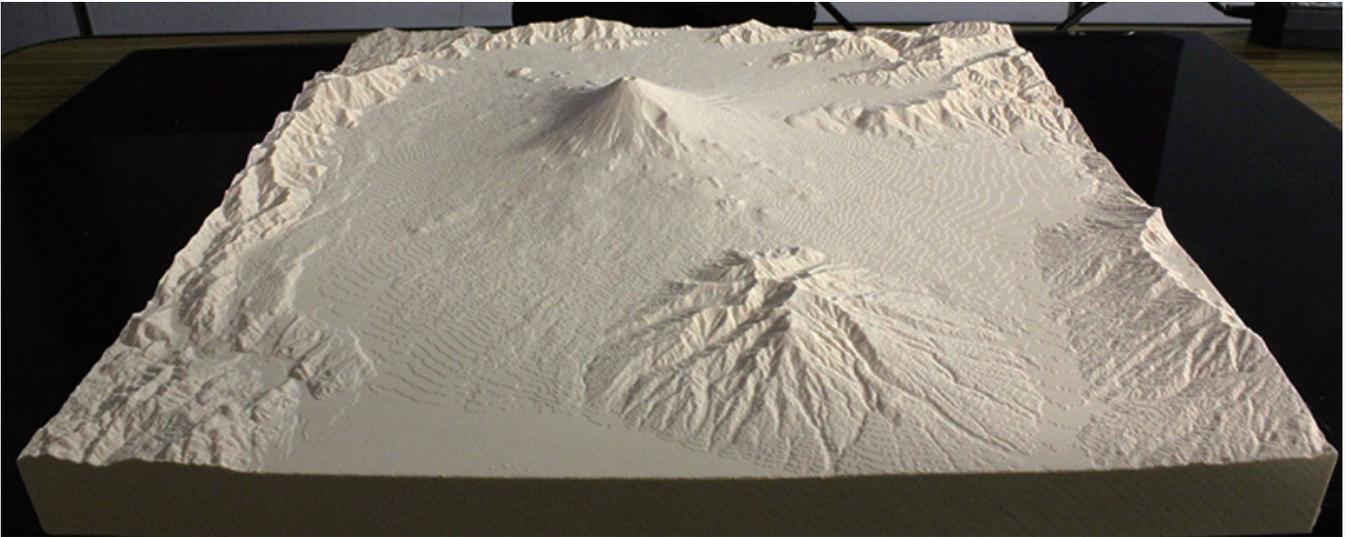
SHIBAHARA Akihiko, OIKAWA Teruki, ISHIZUKA Yoshihiro, NAKANO Shun, YAMAMOTO Takahiro, TAKADA Akira and URAI Minoru (2014) Finely-detailed 3D geological projection model of Mt. Fuji exhibited in IAVCEI 2013.



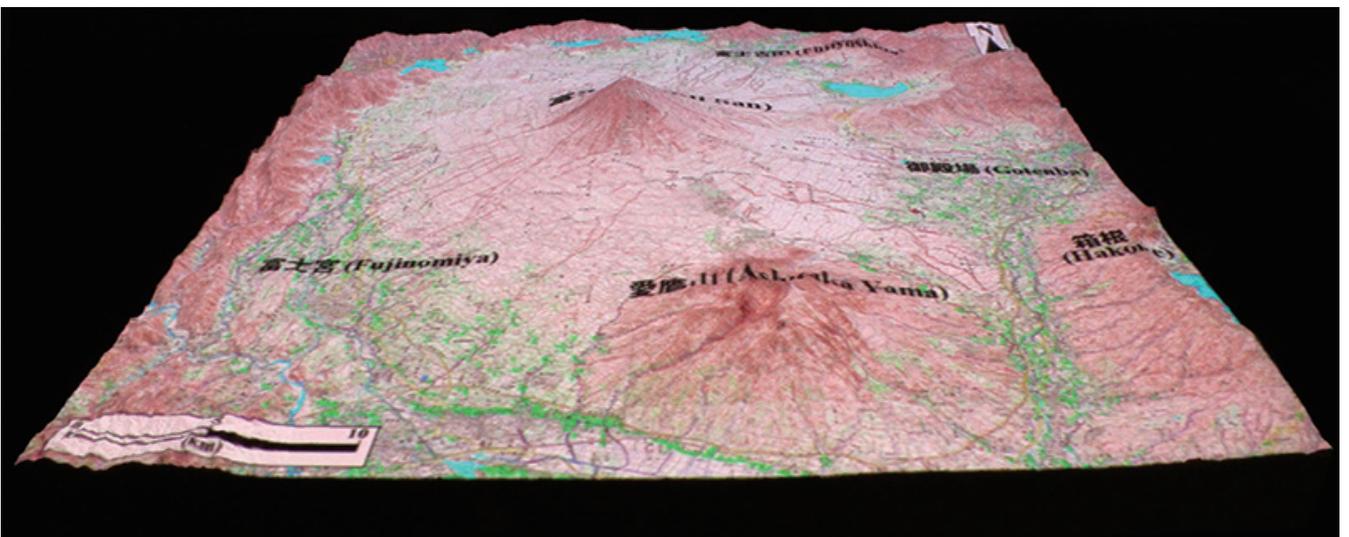
第5図 富士火山地質図（2000年前以降の噴出物）の投影。俯瞰約45度



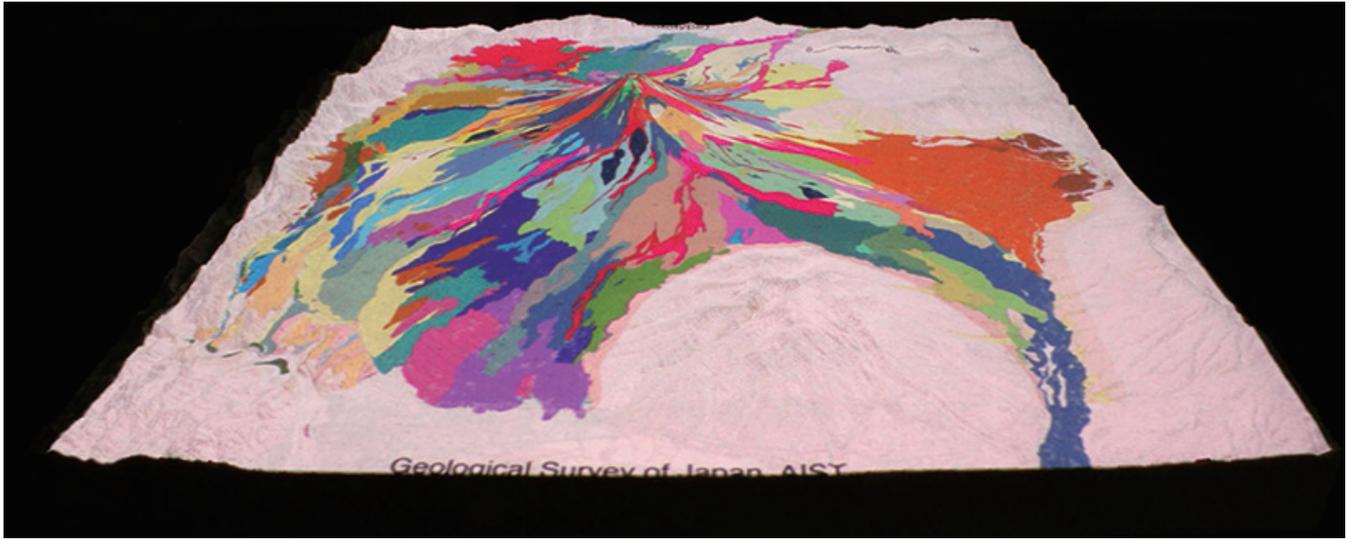
第6図 衛星画像 (ASTER) の投影。俯瞰約45度。



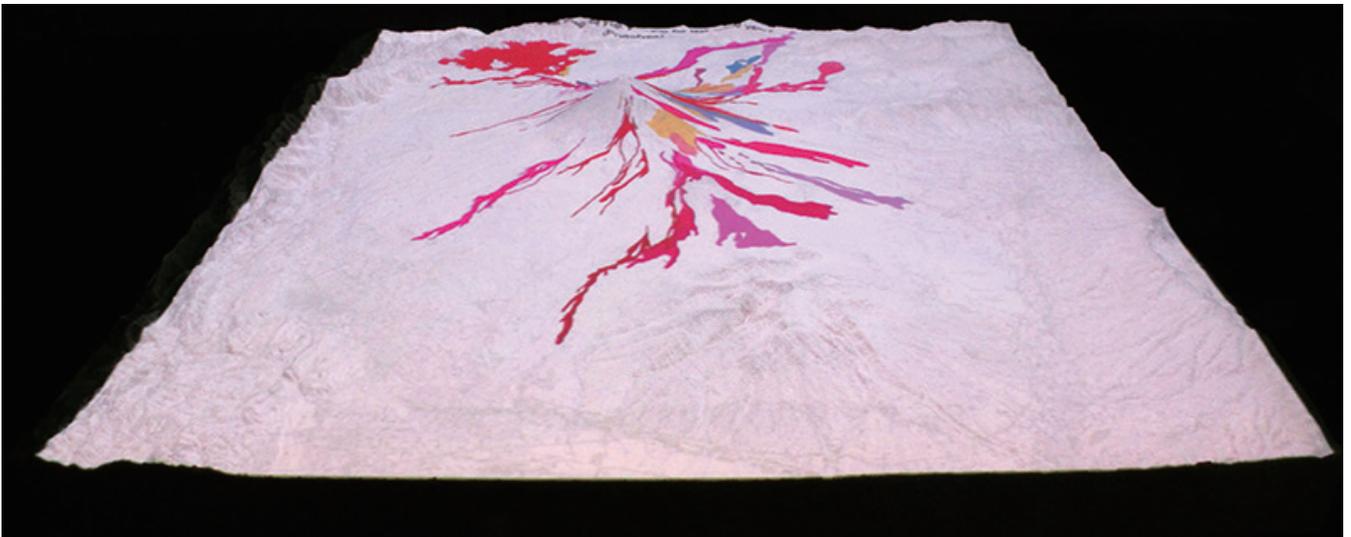
第7図 富士山の立体模型（投影前，俯瞰約25度）。



第8図 国土地理院5万分の1数値地図（地図画像）の投影。俯瞰約25度。



第9図 富士火山地質図（全噴出物）の投影。俯瞰約25度。



第10図 富士火山地質図（2000年前以降の噴出物）の投影。俯瞰約25度。



第11図 衛星画像(ASTER)の投影。俯瞰約25度。